

工事の無事完了祝う エネワンソーラーパーク矢吹



玉串をささげ、工事の無事完了を祝う猪狩常磐共同ガス社長

矢吹町丸の内に完成した大規模太陽光発電所（メガソーラー）の一日、現地で行われた。



完成したエネワンソーラーパーク矢吹の太陽光パネル

東北電力に売電するエネワンソーラーパーク

約三十人が出席し、玉串をささげて、工事を無事完了を祝った。祝詞奏上した後、猪狩謙二常磐共同ガス社長、野崎吉郎町長らが

した。年間発電量は一般家庭約三百世帯分に相当する約八万七千 kWh。二月二十四日から操業し、全量を東北電力に売電している。猪狩社長は「見学施設もある。地元住民をはじめ多くの人に「見てもらいたい」と話している。年間売電収入の1%相当（約三十万円）を毎年、矢吹町に贈るといふ。

ソーラーパーク矢吹完成

常磐共同ガス（いわき市、猪狩謙二社長）が、サイサン（さいたま市）と森和エナジー（東京都）と共同事業



業体を構成し、矢吹町丸の内に建設していた大規模太陽光発電所「エネワンソーラーパーク矢吹」が完成し、19日、現地で行われた。常磐共同ガスのメガソーラー設置は初めて。同発電所は旧曙ブレイキ工業跡地と民有地合わせて約1万7千平方メートルの敷地に、太陽光パネル4280枚を設置、出力は1.4MW（1091kW）。県の市民交流型再生可能エネルギー導

入促進補助金を活用した。年間発電量は一般家庭300世帯分に相当する。2月24日からすでに稼働し、東北電力に全量売電する。同社は今後、年間売電収入の1%相当分の約30万円を町に寄付するほか、敷地内に整備された見学施設を地域住民や児童、生徒らに公開する。約30人が出席。神事に続いて猪狩社長、サイサンの川本武彦社長、森和エナジーの森田政敏代表、野崎吉郎町長らが玉串をささげ、今後の安全を祈った。

福島民報

平成27年3月20日朝刊

福島民友

平成27年3月20日朝刊